

2021年2月期 第2四半期 決算説明資料

MS&C

株式会社 MS & Consulting

P/Lサマリー(四半期比)

単位：百万円	2021年2月期 第2四半期 6月～8月	2020年2月期 第2四半期(注) 7月～9月	前年 同四半期比	2021年2月期 第1四半期 3月～5月	前四半期比
売上収益	272	716	-62.0%	206	32.1%
売上原価	-254	-400	-36.4%	-239	6.6%
販管費	-161	-198	-18.9%	-171	-6.1%
その他営業損益	49	7	625.5%	1	4240.9%
営業利益	-93	125	—	-202	—
EBITDA	-74	143	—	-183	—
親会社の所有者に帰属する 当期利益	-65	85	—	-140	—

注：2020年2月期第2四半期は、2019年7月1日～2019年9月30日
(決算期変更の経過期間となった2020年2月期は、2019年4月1日～2020年2月29日までの11カ月間)

- ✓ 前年同四半期比、「販管費」は18.9%減、「その他営業損益」は大幅に増加するも、1Qに引き続き依然大幅な減収減益
 - 販管費：旅費交通費が大幅に減少、加えて広告宣伝費、貸倒引当金なども減少
 - その他営業損益：雇用調整助成金等の助成金収入により大幅に増加
- ✓ 前四半期比、売上収益ならびに営業利益は、ともに改善傾向
 - 売上収益：8月に前年同月比75.3%まで回復したことにより、前四半期比32.1%増
 - 営業利益：販管費の減少及びその他営業損益の増加により、売上収益以上の改善、8月は今期初の単月黒字

P/Lサマリー(前年同期比、予想進捗率)

単位：百万円	2021年2月期 上半期 (実績)	2020年2月期 上半期 (実績)	前年同期 差異	前年同期 比	2021年2月期 通期業績 (予想)	予想進捗率
売上収益	479	1,368	-889	-65.0%	2,163	22.1%
売上原価	-493	-821	328	-40.0%	—	—
販管費	-332	-405	73	-18.1%	—	—
その他営業損益	50	5	45	840.4%	—	—
営業利益	-296	147	-443	—	101	—
親会社の所有者に帰属する 当期利益	-205	104	-309	—	67	—

- ✓ 通期業績予想に対する売上収益進捗率は22.1%、上半期実績に下半期初受注残高(国内)を含めた通期業績予想に対する売上収益充足率は58.7%
 - 緊急事態宣言が解除となった2Qの受注は、感染第2波のピークとなった8月に失速したものの、前年同四半期比80.0%まで回復(1Qの受注は前年同四半期比36.9%)
 - 一方、7月までは、1Q同様、一時休業に伴う業績悪化、集まりや外出の自粛などを理由に、ミステリーショッピングリサーチ(以下、MSR)やコンサルティング・研修(以下、コンサル)の延期または中止を希望する既存顧客が後を絶たず

- ✓ 2021年2月期通期業績予想の達成に向け、3Qの受注回復が鍵
 - 店舗における新型コロナウイルス感染症対策の徹底度を図るツールとしてMSRの引き合いが増加、受注はもちろん、延期となった既存顧客の再開に繋げる(p13~14を参照)
 - 加えて、IT導入補助金対象認定を受け、期中計上割合の大きなSVナビやtenpoket チームアンケート(以下、チームアンケート)の受注に注力(p15を参照)

- ✓ 5月に底を打ち、8月で売上収益、MSR調査数ともに大きく回復したものの、先行きは依然不透明な状況
 - 外食業界をはじめとする当社の主要顧客は、未だ厳しい経営環境にあり、上述の受注ならびに延期となった既存顧客の再開に関する合理的な予測が困難であることから、現時点における通期業績予想の修正は行わず

P/Lサマリー(国内における売上収益の内訳)

単位：百万円

	2021年2月期 上半期 3月～8月	2020年2月期 上半期 4月～9月	前年同期 差異	前年同期比
売上収益	463	1,355	△ 891	-65.8%
MSR事業の売上収益	450	1,337	△ 888	-66.4%
(内、MSR)	404	1,149	△ 745	-64.8%
(内、コンサル)	45	188	△ 142	-75.8%
(内、チームアンケート)	16	73	△ 56	-77.4%
その他の売上収益	13	17	△ 4	-22.4%
売上総利益	-14	533	△ 548	—
<売上総利益率>	-3.1%	39.4%	-42.5%	—
MSR調査数	4.7万回	11.8万回	-7.1万回	-60.5%
チームアンケート調査店舗数	0.5万店	2.0万店	-1.4万店	-73.7%

注：MSR事業には、MSRの活用を総合的にサポートするコンサルを含む

✓ MSR、コンサルともに大幅減

- MSRの売上収益は前年同期比64.8%減、MSRの活用を総合的にサポートするためのコンサルの売上収益は前年同期比75.8%減 (p2を参照)
- 8月のMSR調査数は前年同月比81.1%まで回復したものの、コンサルは依然として実施困難な環境が続く

資 産

単位：百万円	2020年2月期	2021年2月期
	連結会計年度 (2020年2月29日)	第2四半期 (2020年8月31日)
現金及び 現金同等物	532	815
営業債権 及びその他の債権	764	378
流動資産合計	1,347	1,293
のれん	2,224	2,224
非流動資産合計	2,467	2,589
資産合計	3,814	3,882

負債及び資本

単位：百万円	2020年2月期	2021年2月期
	連結会計年度 (2020年2月29日)	第2四半期 (2020年8月31日)
社債及び借入金	71	167
営業債務 及びその他の債務	519	481
流動負債合計	688	710
社債及び借入金	0	319
非流動負債合計	23	379
資本金	609	609
資本剰余金	1,542	1,543
利益剰余金	988	702
資本合計	3,103	2,793
負債及び資本合計	3,814	3,882

- ✓ 売上収益の減少と売掛金の回収により、営業債権及びその他の債権が減少
- ✓ 調査数減少によりモニター謝礼原価が減少したため、営業債務及びその他の債務が減少
- ✓ 金融機関からの長期借入金500百万円(返済期間3年)により、社債及び借入金が増加

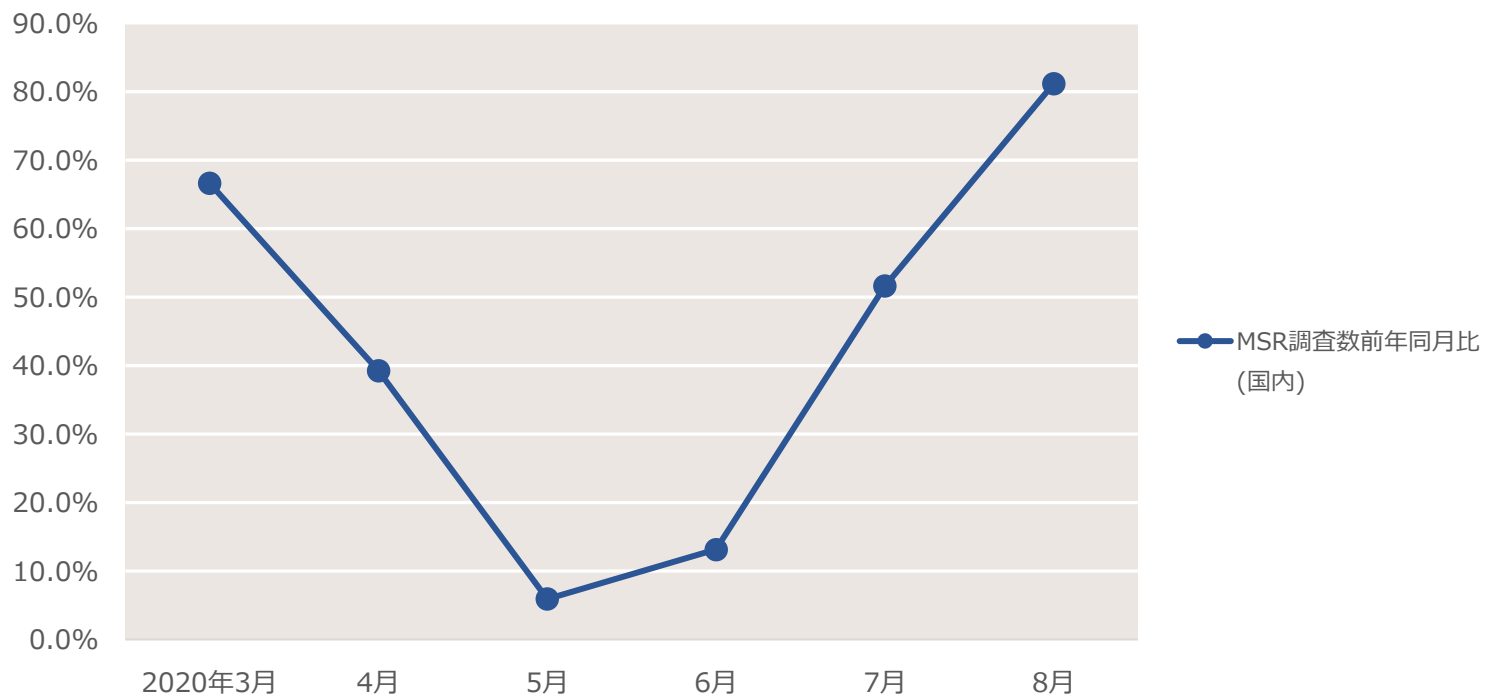
単位：百万円	2021年2月期	2020年2月期		2021年2月期	
	第2四半期 6月～8月	第2四半期 7月～9月	前年 同四半期比	第1四半期 3月～5月	前四半期比
営業活動によるキャッシュ・フロー	-79	65	-221.0%	92	-186.2%
投資活動によるキャッシュ・フロー	-14	-14	5.4%	-13	6.8%
財務活動によるキャッシュ・フロー	403	18	2193.2%	-105	-483.0%
現金及び現金同等物の期末残高	815	440	85.3%	505	61.3%

✓ 営業活動によるキャッシュフロー

- 1Qから続く売上収益の減少に伴い、2Qの営業活動によるキャッシュ・フローは79百万円の支出

✓ 財務活動によるキャッシュフロー

- 短期借入金の返済や配当による支出等が発生した一方、財務基盤の安定を図るため金融機関から500百万円の長期借入(返済期間3年)を行った結果、2Qの財務活動によるキャッシュ・フローは403百万円の収入



- ✓ MSR調査数は、5～6月が前年同期比で1割程度まで激減
- ✓ 7月以降回復し、8月度は前年同期比81.1%

● 配当の基本方針

- ✓ 当社の利益配分につきましては、株主の皆様に対する安定的かつ継続的な利益還元を経営の最重要課題のひとつと位置付けた上で、将来の事業の発展と経営基盤の強化のための内部留保の充実と経営成績等を勘案し、IFRS(連結)の配当性向20%、日本基準(単体)の配当性向30%を目安として、配当を実施することを基本方針としております。
- ✓ 2021年2月期以降、中間配当及び期末配当の年2回の配当を実施する方針としております。

● 本中期経営計画期間中（2024年2月期まで）の株主還元基本方針

- ✓ 本中期経営計画期間中は、上記配当の基本方針を据え置く一方、累計総還元性向100%(日本基準・単体)を目指し、配当と合わせて自己株式の取得を進めることを、株主還元の基本方針としております。

(注)本中期経営計画…2019年5月9日ならびに5月22日に開示した中期経営計画

● 中間配当及び期末配当

- ✓ 上記の基本方針に基づき、2021年2月期の中間配当は1株当たり9.25円、2021年2月期の期末配当予想は1株当たり9.25円としております。

(注) 期末配当は、2021年4月下旬に開催予定の当社取締役会の決議をもって正式に決定・実施となります。

appendix

商号	株式会社MS&Consulting
事業	一般消費者モニターを活用したリサーチ業務及び外食・サービス・小売業界を中心とした経営コンサルティングに関する業務
設立日	2008年5月16日
本社所在地	東京都中央区日本橋小伝馬町4-9小伝馬町新日本橋ビルディング
代表者	並木 昭憲（代表取締役社長）
資本金	608,538 千円（2020年2月末日現在）
従業員数	133名（アルバイト・パート除く、2020年2月末日現在）

	主力サービス	競合との差別化要因	次の成長エンジン
サービス	顧客満足度(CS)覆面調査 ミステリーショッピングリサーチ MSR	コンサルティング・研修	従業員満足度(ES)調査 tenpoket チームアンケート
内容	<ul style="list-style-type: none"> マーケティングリサーチの一種で、当社グループのモニターが<u>一般利用者として</u>実際に顧客企業の運営する店舗等を訪れ、商品や<u>サービスを評価</u> 「<u>2ストライク1ボール</u>」のレポートを理想とし、現場改善ツールとして活用 	<ul style="list-style-type: none"> ミステリーショッピングリサーチやtenpoket チームアンケートの調査結果をもとに<u>ボトムアップ型のサービス改善を支援するコンサルティングノウハウ</u> 調査による現状把握に止まらず、各種調査結果を用いた<u>改善活動の定着化をワンストップで支援</u> 	<ul style="list-style-type: none"> 「リーダーシップ」「チームの遂行力」「チームの風土」「スタッフの主体性」「スタッフの満足度」の5つの観点で<u>従業員満足度を調査</u> 必要最低限の設問数で負担なく回答できる仕様で、<u>店舗の課題を把握、改善につなげる</u>



CS向上



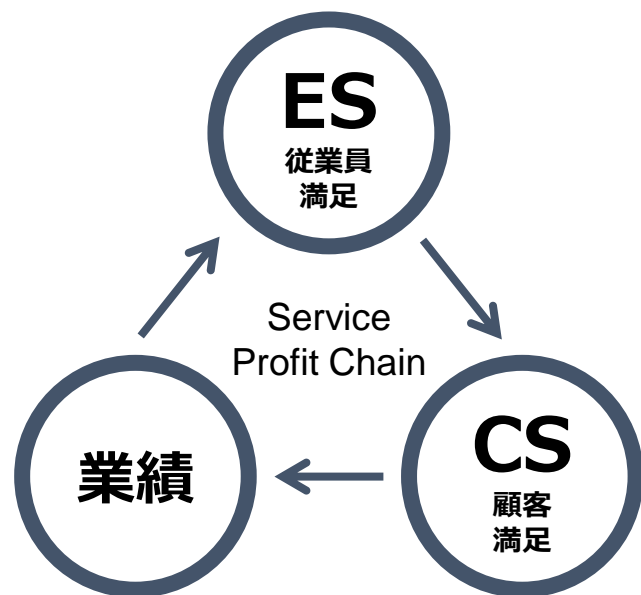
CS・ES向上
改善活動の定着化支援



ES向上

- ✓ 当社は、MSR、tenpoket チームアンケート及びコンサルの提供により、顧客企業が提供しているサービスの高品質化・高付加価値化を支援しています。

ビジョン | 顧客企業のサービスプロフィットチェーン経営の実現



■ 当社の主要サービス

ミステリーショッピングリサーチ

for CS

コンサルティング・研修

for CS/ES

tenpoket チームアンケート

for ES



経営理念 | 精神的に豊かな社会の創造

- ✓ SPCとは、顧客満足度の向上・従業員満足度の向上・業績の向上が互いに結びついており、好循環サイクルを実現することを指しています。当社は顧客企業がSPCを実現することを通して、経営理念である「精神的に豊かな社会の創造」を目指しています。

2020年6月29日 新型コロナウイルス対策覆面調査の提供を開始

新型コロナウイルス対策調査

<https://www.msandc.co.jp/msr/coronaversionofthesurvey>

2020年8月31日 新型コロナウイルス対策覆面調査の導入店紹介サイトを開設

「ミ/マモリ調査」サイト

<https://mimamori.ms-r.com/public/index.php>

2020年6月29日

各位

株式会社 MS&Consulting
(コード番号: 6555 東証第一部)

新型コロナウイルス対策覆面調査の提供を開始

株式会社 MS&Consulting (本社: 東京都中央区、代表取締役社長: 並木 昭憲) は、With コロナに対応した、サービス業等店舗での新しい接客様式の開発と定着、それによる顧客満足度 (CS) 向上並びに「安心できるサービスを提供する企業」としてのブランディング向上を目的とした、新型コロナウイルス対策覆面調査 (以下、コロナ対策覆面調査) の提供を開始いたします。

■ コロナ対策覆面調査について

新型コロナウイルスの影響による様々な自粛要請や制限が解除され、経済活動は再開に向けて動きだしていますが、消費者の意識やそれに基づく生活様式は以前と同じ状態に戻るわけではなく、With コロナの時代に合わせて変化していくものと考えられています。

当社調査においても、飲食店や商業施設など多くの業態に対して、「コロナ終息後には利用機会を増やしたいが「コロナ対策には不安を感じる」という消費者心理が読み取れる結果となっております。

当社では、こうした心理状態にある消費者に安心して店舗を利用してもらうためには、サービス提供側も顧客心理に応じた新しい接客様式を開発し、定着させていく必要があると考え、この度コロナ対策覆面調査の提供を開始いたしました。

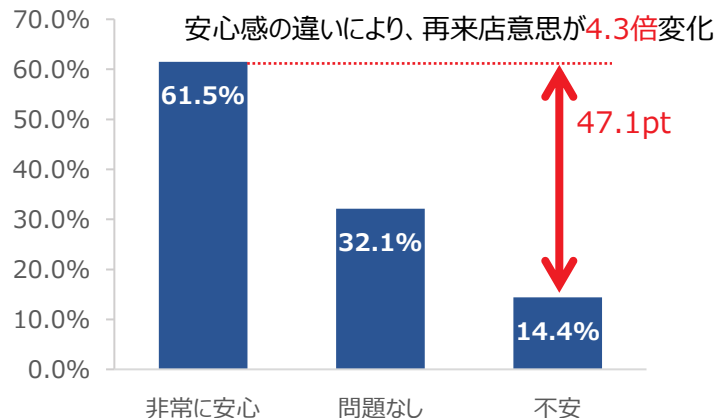
コロナ対策覆面調査は、日本フードサービス協会、小売業協会などの各種協会ガイドラインを参考にしながら、当社顧客満足度覆面調査「ミステリーショッピングリサーチ」のコメント分析を基に、特に衛生面での取り組みについて各業態に応じた設問項目を設けたものです。

本調査を実施することにより、サービス提供企業のコロナ対策が徹底されるだけでなく、それらの対策

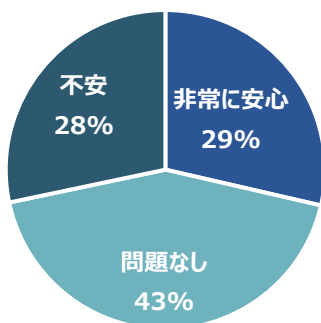
外食

対象期間：2020年5月8日～6月18日、対象調査数：212店舗

■「コロナウイルス対策への安心感」と「再来店意思満点獲得率」の関係



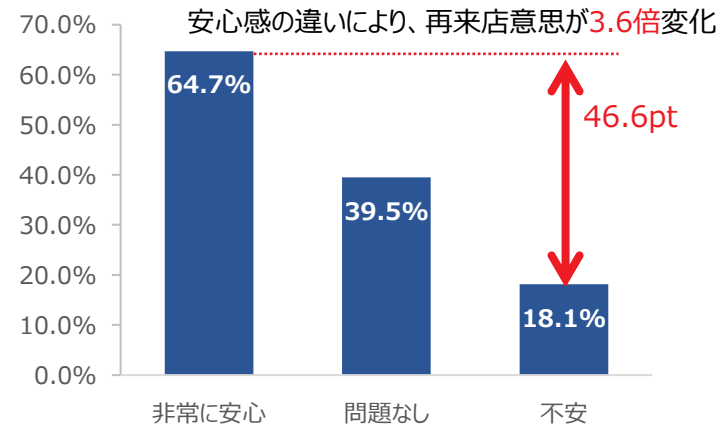
■「コロナウイルス対策への安心感」



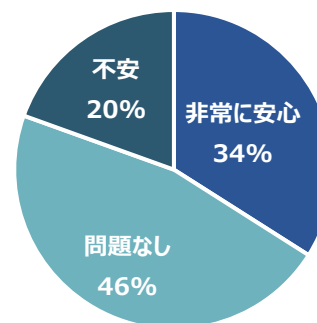
SS

対象期間：2020年7月1日～31日、対象調査数：1312店舗

■「コロナウイルス対策への安心感」と「再来店意思満点獲得率」の関係



■「コロナウイルス対策への安心感」



※共に当社調べ

2020年8月26日 経産省IT導入補助金に「tenpoketチームアンケート」「SVナビ」が認定

2020年8月26日

各 位

株式会社 MS&Consulting
(コード番号：6555 東証第一部)

経産省 IT 導入補助金に「tenpoket チームアンケート」「SV ナビ」が認定

株式会社 MS&Consulting (本社：東京都中央区、代表取締役社長：並木 昭憲) は、経済産業省が推進する令和元年度補正サービス等生産性向上 IT 導入支援事業「IT 導入補助金 2020」(以下 IT 導入補助金) において、当社が提供する従業員満足度調査「tenpoket チームアンケート」及びスーパーバイザーの業務効率化とスーパーバイジング力の向上を目的とした SaaS「SV ナビ」が補助金対象の IT ツールとして認定されましたので、お知らせいたします。

■「IT 導入補助金」について <https://www.msandc.co.jp/it>

IT 導入補助金は、中小企業・小規模事業者に対して、自社の経営課題に合った IT ツール（サービス、導入関連費など）の導入経費を国が一部補助することで、生産性向上や収益性向上を支援するものです。2020 年度は、新型コロナウイルス感染症が事業に与える影響への対策および拡大防止に前向きに取り組む事業者に対し、補助率を引き上げた「特別枠」を設け、サプライチェーンの毀損への対応、非対面ビジネスへの転換、テレワーク環境の整備にかかる IT の導入を支援しており、この「特別枠」を利用することで、ツール導入費用・導入関連費用の補助率：最大 3/4、補助額：最大 450 万円が支給されます。

■「tenpoket チームアンケート」 <https://tenpoket.com/>

「tenpoket チームアンケート」は、働きがいに関する組織の現状と課題を把握した上で、各組織の課題

免責事項

- 本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的として、株式会社MS&Consulting（以下「当社」という。）が作成したものであり、いかなる有価証券の売買の勧誘を目的したものではありません。
- 本資料に含まれる当社以外に関する情報は、一般に公知の情報に依拠しておりますが、かかる情報の正確性、適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、またこれを保証するものではありません。
- 本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、ご自身の責任とご判断においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任を負いません。

将来見通しに関する注意事項

- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」（forward-looking statements）を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。
- それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。
- 今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。